

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		1			
2 専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁	(2)	床	(4)
		その他の壁	(3)	屋根	(4)
	出入口	(5) (しきい高さ cm)	その他	(6)	
3 タンクの構造、設備	形状	(1)	寸法	(2)	
	容量	(3)	材質、板厚	(4)	
	通気管	(5)	給油、注油設備	(6)	
タンク固定方法		4			
採光、照明設備		5			
換気、排気の設備		6			
消火設備		7			
工事請負者住所氏名		8			
		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(簡易タンク貯蔵所構造設備明細書)

- 1 「事業の概要」欄は、簡易タンク貯蔵所を設置する事業所等の事業の概要を記入する。
- 2 「専用室の構造」欄は、簡易タンク貯蔵所を建築物内に設置する場合は、次により記入する。
 - (1) 屋外に設置する場合は、記入しない。
 - (2) 「壁」のうち「延焼のおそれのある外壁」欄は、建築物の外壁のうち、建築基準法第2条第6号の規定に該当する部分がある場合に、外壁の構造を記入する。
 - (3) 「壁」のうち「その他の壁」欄は、建築物のうち、延焼のおそれのある外壁以外の外壁、仕切り壁等の構造を記入する。
 - (4) 「床」、「屋根」欄は、構造を記入する。なお、建築基準法における構造も併せて記入する。
 - (5) 「出入口」欄は、外壁部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入するほか、建築物に設置するしきいの高さがかっこ書きで記入する。
 - (6) 「その他」欄は、特記事項を記入する。
- 3 「タンクの構造、設備」欄は、次により記入する。
 - (1) 「形状」欄は、形状及び屋根形状を、「縦置円筒型（コーンルーフ）」「横置円筒型（中仕切り）」「角型」等と記入する。
 - (2) 「寸法」欄は、内径、高さ、側板高さ、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出等を記入する。
 - (3) 「容量」欄は、内容積、空間容積、容量を記入する。
 - (4) 「材質、板厚」欄は、底板、胴板、鏡出、屋根板、側板の材質及び板厚を記入する。
 - (5) 「通気管」欄は、「無弁通気管」等の種別を記入する。
 - (6) 「給油、注油設備」欄は、設置する給油又は注油設備の形式名等を記入する。
- 4 「タンクの固定方法」欄は、簡易タンク貯蔵所の固定方法を「架台」、「鎖」、「車止め」等と記入する。
- 5 「採光、照明の設備」欄は、設置する採光及び照明設備の種類等の概要を記入する。
- 6 「換気、排出の設備」欄は、換気又は排出の別（自然換気、一部強制換気、強制換気）、材質、個数、防爆仕様、引火防止網の有無を記入する。
- 7 「消火設備」欄は、危険物令別表第5の消火設備の区分のうち、設置するものを、例えば「第5種（粉末ABC消火器3.5kg）1本」と記入する。
- 8 「工事請負者住所氏名」の欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。

様式第4のへ (第4条、第5条関係)

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要				
専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁		床
		その他の壁		屋根
	出入口	(しきい高さ cm)		その他
タンクの構造、設備	形状			寸法
	容量			材質、板厚
	通気管			給油、注油設備
タンク固定方法				
採光、照明設備				
換気、排気の設備				
消火設備				
工事請負者住所氏名		電話		

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。